

.....
なんでも民営化でいいの？
.....

民間に任せられることは民間にと行政改革がすすめられ、これまでに、三公社五現業、鉄鋼や航空・電信電話・塩やタバコの専売などいろいろな事業が民営化されてきました。

「民営化」は、国の責任・役割として長年税金をかけ育ててきた国の事業・財産を、民間に払い下げ、市場まかせにするものです。株主の意見や経済効率が優先されます。

民間の活力を促し、景気が良くなるかのようにさげばれますが、なんでも民営化でいいのでしょうか。

① 国鉄民営化

日本国有鉄道・国鉄、国民の足の確保を、全国に鉄道網が整備されました。通勤や通学・病院などの日常生活に大事な手段でした。

30年前に、JRの社と貨物に7分割され、一民間企業となりました。

利益確保と、一泊何十万もする豪華列車が登場する一方、赤字路線は次々廃止され、通勤・通学のため転

居や下宿するなど地方の過疎化に拍車をかけました。

本州3社は赤字、九州・四国・北海道は赤字。特にJR北海道は、半分以上の路線で維持が困難と発表されています。

過疎化や高齢化で、国民生活を支える基盤としての公共交通の役割・確保が重要な政治課題になっている時です。鉄道事業の公共性にふさわしく国が公的に支える事、地方再生にも、市場まかせ、民間まかせのままでもいいのでしょうか。

② 郵政民営化

小泉元首相が、「郵政民営化、是非か」と大上段に掲げた戦った衆院選で大躍進をし、郵政事業の解放を求めるアメリカからの外圧もあり、民営化がすすめられました。郵政事業も、郵便や預金・保険などに4分割され、いま郵便局の窓口でアメリカのアフトラックの保険の取り扱いもされています。全国どこにもあった郵便局、近場の小さな局ほどなくなり、田舎ほど不便になりました

③ 種子法の廃止

4月の国会で、自民・公明の賛成により種子法が廃止されました。

主要農産物である「稲・麦・大豆」の地域に適した品種改良や保存・安価で安定供給のため、都道府県や地方自治体にも義務付けられ、試験場を置くなど助成をしてきました。今は民間に任せるといいます。今までの技術や情報を渡し、財政支援もなくします。儲けを追求する企業では、種子価格の値上げは避けられません。地域の固有種・在来種はどうなるのでしょうか。

安全が確認されていないアメリカ・モンサント社の遺伝子組み換え種子による食品も出回っています。日本の胃袋・命を市場任せにされてしまします。

国鉄も郵政も種子法廃止も、地方再生どころか地方切り捨てです。水道事業の民営化も大問題です。弱者切り捨てにならないよう、生活の基本的な部分は政治の責任として守るべきと考えます。

知子のひふしじゆ

五月十四日は「母の日」でした。私の母は、大正元年の生まれ。生きていけばすでに百歳を超えています。7人兄弟の一番上。下に女性ばかり4人生まれたので、てっきり自分がこの家の跡取りと思っていた。ところが6番目に長男が生まれ、母はがっかりしたそうです。(7番目は女性)

そんな母が76歳の時に書いていた日記が出てきました。(平成2年1月1日～12月31日までの一年間)

〇月〇日 晴れ きょうも草むしり
〇月〇日 雨 寒い。こたつの番

小さな字でほとんど毎日書いていました。家族のこと、兄弟のこと、旅行へ行ったこと。孫から手紙をもらって喜びのかと思ったり、字がへたで困ったもんだと嘆いています(実は、私の息子からの手紙)

選挙で共産党が議席を減らして心配したり、赤旗まつりに行って、前回より多くの人に来てると喜んで.....

この一冊の日記から、家族の事を心配したり、よく働き、一生懸命生きて母の思いが伝わってきました。

野党と市民の共同で
安保法制(戦争法)廃止、立憲主義回復を

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい
常山 知子 電話・FAX 62-6733